

2025年度 愛知県U11バスケットボール交流会競技取り決め事項

① 競技規則について

(1) JBAバスケットボール競技規則に則る。ただし、次を変更して行う。

- ・ゲーム時間は、1Q5分（正式タイム）、ハーフタイム3分とする。
- ・第4Qを終了して同点の場合、オーバertime（延長）は行わない。
- ・ゲーム終了後、1Q5分（ランニングタイム）のB戦を行う。
 - ・ゲーム終了後、速やかにB戦を開始する。
 - ・審判とオフィシャルは、当該チームで行う。
 - ・B戦においても審判は必ずレフェリーシャツを着用する。
 - ・攻撃するバスケットは、ゲーム終了時のバスケットとし、センターサークルでのジャンプボールで始める。
 - ・タイムアウトは請求できない。交代はボールがデッドであれば可能とする。
 - ・**B戦はビブスを着用しての出場を認める。**
- ・第1Qから第3Qまでにプレーヤーが怪我や出血をした場合、プレーヤーの治療時間が約60秒以内であれば、プレーヤーは交代しなくてもよい。また、怪我等の状況確認や介抱・介助のため、審判の指示に従いベンチ内の人コートに立ち上がった場合においても、当該プレーヤーは、必ずしも交代しなくてもよい。
- ・テクニカルファウル2個あるいはアンスポーツマンライクファウル2個、もしくはテクニカルファウルとアンスポーツマンライクファウルを1個ずつ記録されたプレーヤーは、失格・退場になるが、ベンチの端に留まることができる。なお、コーチはベンチに留まることはできない。

(2) マンツーマンディフェンスの基準規則に則る。ただし、マンツーマンコミッショナーは設置しない。

② 確認事項

- ・ユニフォームの下にTシャツは着用しない。ただし、コンプレッションウェアや半袖、長袖圧着タイツは着用できる。
- ・前ゲーム遅延の場合は、ゲーム終了後5分間の練習時間を確保する。
- ・ゲーム進行の遅延が無いように各チームエントリーを速やかに行う。
 - 1Q：1分前に整列し、確認する。
 - 2Q：1Q終了後、速やかに整列し、確認する。
 - 3Q：2Q終了後、速やかに整列し、確認する。
 - 4Q：3Qと同一メンバーであれば、口頭での伝達を可能とする。
 - 3Qと変更するメンバーがいる場合は、速やかに整列し、確認する。
- ・ゲーム開始時（あいさつ）は、手紙の交換、手土産の交換は行わない。手紙の交換、手土産の交換を行うのであれば、ゲーム開始3分前までに行う。
- ・得点版に掲示するチーム表記は、各チームで準備し、ゲーム前に掲示する。
- ・ゲーム終了後は、速やかに荷物を持ってベンチから移動する。相手チーム（コーチ、プレーヤー）、オフィシャル（得点）へのあいさつは行わない。

- ・ゲームを指揮する者は、ゲーム中にライセンス証を必ず首からさげる。
- ・インテグリティ（誠実さ、真摯さ、高潔さ）に則り、「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」を推進する。コーチの暴力的行為および暴言といった振る舞いに対しては、「リスペクト・フォー・ザ・ゲーム」の観点からテクニカルファウルとする。

③ ゲームエントリーについて

- ・JBA未登録のプレーヤーについても参加を認める。
- ・ベンチメンバー（プレーヤー）は、20名程度まで認める。ただし、**ゲームに出場できるメンバーは、メンバー表に記載された15名以内とし、同一のユニフォームを必ず着用する。**
- ・ゲーム開始時刻の1時間前までにメンバー表を本部へ提出すること。ただし、第1ゲームのチームは30分前とする。
- ・メンバー表は、コーチ欄に記載されているコーチが提出し、最新年度のTeamJBAコーチ証（デジタル登録証可）を提示する。
- ・メンバーのコーチ欄は、実際にゲームを指揮する者を記載する。

④ 帯同審判について

- ・帯同審判の割当ては、各チームで責任を持って担当する。帯同審判ができない場合は、各チームで別の審判員を帯同させる。
- ・帯同審判は、JBA審判E級以上のライセンスの資格を必要とする。
- ・審判を行うときには、規定された服装を着用する。

⑤ オフィシャルについて

- ・オフィシャルを行うときは、大人が必ず1名付き添い、ゲームの進行を補助する。